

(様式2)

# 令和元年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和2年3月17日  
札幌市立平岡中学校

## 1 本年度の重点目標

- ・継続性・連続性を大切にする学校
- ・目を外に向けて、視野を広くもっている学校
- ・一体感のある学校
- ・公立中学校としての使命を果たす学校

## 2 本年度の経営方針

- ①「学ぶ意欲」「学んだ力」「生かす力」の学力3要素をバランスよく育む。
- ②他人を思いやる心や生命を尊重する心、自然や美しいものに感動する力など豊かな心を育成する。
- ③健やかな身体の育成に向けた指導の充実
- ④生徒理解に基づく生徒指導体制の推進。
- ⑤「いきがい」を支援する進路指導の充実
- ⑥協働の精神による潤いのある学校の創造
- ⑦異校種間の連携・接続の取り組みの充実
- ⑧教育環境の整備と充実
- ⑨信頼される学校の創造
- ⑩札幌らしい特色ある学校教育の実践

## 3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点目標	継続性・連続性を大切にする学校	B	生徒・保護者の約90%が学校の雰囲気が高く生徒が生き生きと生活していると回答している。行事や生徒会活動が充実していると回答した生徒も約90%となっており、前年度からの継続した取組が良い結果につながったものと思われる。しかし、学習習慣の定着については肯定的な回答が約67%と、昨年度を下回る結果となった。年間指導計画や評価規準の見直し等も進めつつ、小中一貫の教育を展開していく必要がある。	A	A
	目を外に向けて、視野を広くもっている学校	B	札幌市の学校教育の重点を見据えて、バランスの良い教育活動を心掛けてきた。生徒・保護者の約90%から、学習・行事・部活動等の教育活動に肯定的な回答を得ている。しかし、今後更に生徒の資質や能力を伸ばす指導の工夫を行っていく必要がある。	A	A
	一体感のある学校	B	生徒・保護者の約85%が「平岡中学校の先生方は保護者や生徒の期待や願いに応えようと努力している」と回答しており、一定の評価は得られているが、より一層謙虚に学び合う姿勢を大切に、研鑽していく必要がある。	A	A
	公立中学校としての使命を果たす学校	B	公立学校としての使命の原点に立ち返り、「教科指導」と「学級づくり」を中核に教育活動を進めてきた。生徒の約90%が教科指導について肯定的な回答をしているが、校舎の環境やいじめのない学校づくりに関する項目	A	A

			では肯定的な回答は約80%であることから、より一層の改善に向けた努力が必要となる。」		
学校関係者評価委員による意見		新学習指導要領の完全実施を見据えた研修を行っているので、この研修を継続し、効果的な教育活動につなげて行ってほしい。また、本年度の4つの重点項目を教職員でしっかりと共有し、変化を見据えて継続・連続した取組、柔軟な取組を行って行ってほしい。生徒・保護者からの良い評価に自信をもち、さらに課題の解決に向けた努力をお願いしたい。			
学習指導	学ぶ意欲を高める授業改善	B	生徒の学ぶ意欲を高めるために、各教科において様々な工夫がなされており、授業がわかりやすいと回答している生徒が約90%である。しかし、自ら学習に取り組んだり、課題を解決しようとする姿勢を育むためにも、授業交流や研修会などのより一層の充実が求められる。	A	A
	基本的学習習慣の形成	B	「家庭学習習慣が身に付くよう努力している」と回答した生徒が68%となっている。また、「先生方は家庭学習の仕方を生徒に分かりやすく指導している」と感じている生徒が71%と、いずれも昨年度を上回っているが、生徒の学習状況も積極的に知らせ、家庭との連携を図っていく必要がある。	A	A
学校関係者評価委員による意見		授業で学んだことに刺激を受けて、それを生活に生かしたことなどをどのように評価等に生かすか、また、家庭でなかなか学習できない子どもに対してどのような工夫をするかが大切になるので、研修を深めながら、効果的な方法を見つけて行ってほしい。朝の帯タイムの効果的な利用方法なども考えていくとよい。			
生徒指導	基本的生活習慣の定着	B	基本的生活習慣の定着については、「挨拶」「言葉づかい」「時間を守る」などの指導を継続的に行ってきた。生徒の肯定的な回答は約85%である。教職員でより一層共通理解を深め、粘り強く指導していくことが、落ち着いた学校生活の維持につながるものと考える。	A	A
	学校行事の活性化	A	学級活動や生徒会活動が活発であると感じている生徒の割合は93%と高い。生徒が平岡中学校の良さを実感し、更に活動が充実したものになるよう、全教職員で取り組んでいくことが必要である。	A	A
学校関係者評価委員による意見		基本的生活習慣については概ね良いが、特にいじめに関する指導については、風通しの良い「報告・連絡・相談」を行い、情報の共有・生徒理解を進めて行ってほしい。また、不登校の生徒について、学習面のサポートや友達とのつながりについての配慮をお願いしたい。学校行事については、今後も継続して充実したものにしてほしい。			